

特別講義V

到達目標:発生生物学とその関連領域の最前線を理解する。

科目責任者(所属):林 利憲(生体情報学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/30(木)	18:10-19:40	421	未定	阿形 清和	(非常勤講師)	発生生物学とその関連領域の最前線を理解する。	再生生物学、再生医療、プラナリア、幹細胞
2	7/12(火)	5	421	未定	宮島 篤	(非常勤講師)		臓器再生、肝臓、再生医療、幹細胞、細胞分化
3	10/6(木)	5	421	未定	三浦 恭子	(非常勤講師)		ハダカデバネズミ、がん、老化
4	10/20(木)	5	421	未定	大隅 典子	(非常勤講師)		神経発生生物学、大脳皮質形成、PAX6
5~8	未定	5	未定	未定	未定	未定		

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、7

学位授与の方針との関連:1、2、3

評価:レポート100%(出席を前提)

その他:非常勤講師の講義日程や講義室などは、学務課の掲示板で連絡します。講師の都合で前期に開講することもあります。

特別講義VI

科目到達目標:最先端の腫瘍学研究から学ぶ。

科目責任者(所属):岡田 太(病態生化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/29(火)	2	511	癌細胞の転移	浜田 淳一	(非常勤講師)	癌転移や癌関連遺伝子の機構を理解する。	癌細胞の浸潤・転移と発癌分子機構
2	12/6(火)	2	511	ガス状分子による新たな制御機構	済木 育夫	(非常勤講師)	宿主要因からみた癌転移機構を理解する。	癌細胞の転移と宿主免疫
3	12/13(火)	2	511	オルガノイド培養法による新たな発がん研究の展開	筆宝 義隆	(非常勤講師)	オルガノイドによる発がん機構解析を理解する。	オルガノイド培養, 組織幹細胞, 発がん
4	12/20(火)	2	511	エクソームによる遺伝情報の水平伝達の発見がもたらすインパクト	落谷 孝広	(非常勤講師)	エクソームやnon-coding RNAの世界から癌を考える。	non-coding RNA、エクソーム
5	12/27(火)	2	511	未定	未定		第一線の研究者による講義を通じて、最先端の癌研究を理解する。	
6	1/10(火)	2	511	未定	未定			
7	1/17(火)	2	511	未定	未定			
8	1/24(火)	2	511	未定	未定			

教育グランドデザインとの関連:2、5

学位授与方針との関連:1

評価:レポート 100%